

## ~ おめでとう 110歳 校歌朗読プロジェクト②~

## "いちょうの木の下"で想いを馳せる!



9月10日にスタートした「おめでとう 110歳 校歌朗読プロジェクト」。

9月15日には、山形放送の青山友紀 アナウンサーを講師にお迎えし、"いちょうの木の下"で、諸々に"想い"を馳せました。

いちょうの木の下に行ってみよう! と提案してくださったのは、青山アナウンサー。常に現場を大切にされ、想いを

馳せることからスタートされておられるパーソナリティです。YBC ラジオ「ミュージックブランチ」でもご活躍中で、心温まるエピソードを交えた語り口調には、大勢のファンがおられます。

キャプテンルーム(校長室)にて、自己紹介を行った後、姿勢や表情、発音・発 声、抑揚について学び、貴重なご指導をいただきました。温かな語り口調とプロジ

ェクトメンバー一人ひとりへの優しいまなざし。 プロの気品と魅了してやまない仕草に心を奪わ れた時間となりました。青山アナウンサーが初 任の頃に受けられた研修でのお話や貴重な資料 を使われてのご指導に、心から感謝しておりま す。



次回は、来週 27 日(月) になります。山形放 送取材クルーも同伴してくださるようです。乞うご期待。

本校国語部(髙橋なお先生、清野真美子先生)も、青山アナウンサーの指導の間を縫って指導に当たっています。日に日に上達していく朗読。心を込めるとは・・・。 想いを馳せて読むとは・・・。 ぼくの、わたしの「朗読」表現は、ぼくたち、わたしたちの「校歌への想い」を拡げ、創立 110 周年にあたる記念の年を、より確かなものにしてくれるに違いありません。